

【工学部】 工学部長から近隣の住民の皆様へ

2020年5月20日

工 学 部

工学部長から近隣の住民の皆様へ

近隣の住民の皆様には、大学の運営方針については大変ご心配を頂いているところでございます。信州大学工学部には2千数百名の学生及び教職員がおり、通常の学習・研究活動では非常に密な状態になるのが現状です。このことを踏まえて緊急事態制限が解除された後も、学生の入構については、慎重に緩和する予定であります。

肝心なのは大学の構内でクラスターが発生しないような措置を講じることと思っております。そのため、以前のような活気あるキャンパスに戻るまでには相当程度の時間が必要であると考えております。また、学生はまだ自宅での勉学が主体ですから、近隣での住民の皆様との接触もある程度は想定されますが、我々のほうからも節度ある行動についての注意喚起を行って参ります。皆様にもご指導いただき、温かく見守って頂きますように切にお願い致します。

今後も、工学部は近隣の住民の皆様とのより良き関係を築けるように、情報公開にも努めてまいりますので、ご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。また、この事態が収束した折には、工学部のグラウンドを利用した地域の皆様との共同のイベントが再び行えますように切に願っております。

工学部長 天野良彦

■工学部長から近隣の住民の皆様へのビデオメッセージ

[https://www.kaltura.com/index.php/extwidget/preview/partner\\_id/2341551/uiconf\\_id/43515712/entry\\_id/1\\_29nrl8ur/embed/iframe?](https://www.kaltura.com/index.php/extwidget/preview/partner_id/2341551/uiconf_id/43515712/entry_id/1_29nrl8ur/embed/iframe?)